

高校男子  
ハンド

新人戦

男子決勝リーグ

11月19日・20日、中央大学附属高校体育館・武蔵村山総合体育館で秋季大会東京都予選決勝リーグが行なわれた。19日、安田と対戦、前半、17-10と突き放し勝負を決めた。20日、都立東大和と対戦、前半、11-10と1点リードで折り返すが、後半、相手は奇襲の7人攻撃、明星も必死に守るが僅かに運無く27-25で敗戦となった。11月23日、駒沢体育館で全勝の昭和第一と東京都優勝を賭けて激突する。必勝！！頑張れ！！

	明星	安田	東大和	昭和一
明星		32○27	27●25	
安田	●			●
東大和	○			●
昭和一		○	○	

高校女子  
ハンド

新人戦

女子決勝リーグ

11月19日・20日、中央大学附属高校体育館・武蔵村山総合体育館で秋季大会東京都予選決勝リーグが行なわれた。19日、優勝候補の佼成学園と対戦、必死に喰らいつくが一步及ばず敗戦。20日、白梅と対戦、前日、ポイントゲッターの多田が負傷、チーム一丸で戦いを挑み、後半は8-8の同点だったが前半立ち上がりの失点が差となった。11月23日、駒沢体育館で文大杉並と東京都3位を賭けて激突。頑張れ！！応援している！！

	明星	佼成	白梅	文杉並
明星		16●40	15●21	
佼成	○			○
白梅	○			○
文杉並		●	●	

高校女子  
バスケ

新人戦

3回戦突破

11月20日、都立三鷹高校体育館で新人戦3回戦が行われ都立武蔵丘と対戦した。立ち上がりから試合の主導権を握る。

明星92-57都武蔵丘

1年の亀掛川が試合開始早々ゴール下で相手ファウルを2回取りフリースロー、4本決めて4点リードで試合は開始する。白井の3点シュート、根津・中山が連続して得点、第1ピリオド29-7と試合を決めた。92-57と危なげない試合運びで勝利を手にした。1年の亀掛川がゴール下ポストプレーで30得点と気を吐き、試合中盤、負傷回復中のキャプテン南部、エース中山、二人を温存する余裕さえ見せた。次は23日、4回戦、健闘を祈る！！

高校女子  
バスケ

新人戦

西東京ベスト8戦

11月20日、都立狛江高校体育館で、新人戦西東京ベスト8による順位決定戦が行なわれ都立東大和高校と対戦した。2つのダブルス、3つのシングルスで戦ったが1歩及ばず敗戦となった。小林監督は「すみません。エース石塚が風邪気味で体調不十分力を出し切れませんでした。他のメンバーは練習の成果が感じられる戦いをしてくれました。23日の東京都決勝トーナメントで挽回したいと思います」と選手の体調を気遣いながら次の戦いに闘志を燃やすコメントをされた。インフルが流行の兆し、体調を整え万全で試合に臨んでほしい。1に栄養、2に睡眠、3に休養、4に運動、5にメンタル。都大会での活躍に期待する！！

高校男子  
サッカー

地区新人大会

11月13日、明星高校グラウンドで地区新人選手権大会1回戦が行われ、多摩大聖ヶ丘と対戦した。試合開始からボールキープは明星が圧倒しシュートを放つがなかなか得点には結びつかずジリジリする時間帯が続くが、38分、左サイドの石田からクロスをキャプテン高橋が合わせて先制ゴール、1-0で前半終了。後半、立ち上がり5分、DFの隙をつかれ同点とされる。ボールを支配しシュートを何本も打つがゴールに嫌われる。23分、宮沢が中盤で相手ボールを奪うと前線の高橋に絶妙なパスを通す、高橋が相手GKの頭を超える技有りのループシュートで得点、2-1で勝利を手にする。11月20日、明星グラウンドで2回戦が行なわれブロック優勝候補と前評判の高い桐朋と激突した。前半、明星の前線からの素早く厳しいチェックが功を奏し、相手を自由にさせず、五角以上の戦いを繰り広げた。「勇気を持って相手にぶつかりに行く」「ボールを奪ったら素早く前線へ蹴り出す」というチームの約束を各自が徹底した。GK峰の鉄壁な守り、山本・堀が献身的なディフェンスで相手エースをしっかり抑えた。徐々にペースつかむ。GKと1対1、決定的な場面を何度か作るがゴールとはならず前半で折り返す。後半、立ち上がりも明星ペース、大金星か、同点でPK戦でも勝算あり、と思われる試合展開だったが左サイドからのクロスボールがまさかのゴールとなり失点、その後も明星は集中力を切らさず攻め続けるが相手ゴールネットを揺らすことは出来なかった。悔しい敗戦、あと一步、向いている方向は間違っていない。前へ進む。

中学男女  
陸上

第59回府中市民陸上大会

11月13日、府中市民陸上競技場で第59回府中市民体育大会陸上競技が行なわれた。男子は1500mに出場した1年今平が4分55秒2で2位入賞、2年山本が5分00秒3で5位入賞となった。横田は入賞こそ逃したが5分16秒6のまずまずの記録を出した。1年1000mに出場した大塚は16秒0の記録を出した。佐藤監督は「久しぶりに天候に恵まれた大会でしたが、明星は怪我人・体調不良が出て万全の体勢ではありませんでした。これから始まる長距離シーズン、山本・横田が順調なので楽しみです」と話された。

11月20日、第69回東京都中学校駅伝競走大会が荒川河川敷特設コースで行なわれた。東京都で144校出場、6区間、全員3kmを走り襷をつないだ。明星は体調不良が多くベストメンバーを組む事が出来なかった。短距離チームの徳光・松川は長距離チームの苦境に苦手な距離にもかかわらず出場を申し出た。結果は1時間09分18秒、114位となった。長距離ベストメンバーではなかったが明星チーム一丸の挑戦となった。今平・山本・杉浦は10分台の自己ベストの記録で走りきった。体調を整え再挑戦を誓う。頑張れ！！第1走、今平。第2走、山本。第3走、横田。第4走、杉浦。第5走、徳光。第6走、松川。引率された中村先生の大きな声が「明星、ガンバレー！！」荒川の土手に響き渡った。

中学女子  
硬式テニス

埼玉県1位と練習試合

11月20日、明星テニスコートで埼玉県1位の川口市立青木中学と練習試合を行なった。11月26日から行なわれる関東大会、青木中はトーナメントの反対の山、決勝まであたらないので猪狩監督は練習試合を組んだ。団体戦3試合を行い全勝。埼玉1位のチームに全勝は大きな力・自信となった。関東大会で暴れる。力を出し切る。今朝のテニスコートにも選手の声が響く、心も体も準備万端、関東で明星の名を大きく轟かせて欲しい。頑張れ！！

